

自動運転の時代と交通体系を国際的視点から考える (人間、AI、交通社会のあり方を巡る、英国、ドイツ、フランス、日本での取り組み)

主催：公益財団法人 国際交通安全学会

■日時：2021年2月25日(木) 18:00~21:00

■形態：Zoom

■申込方法：事務局廣谷宛にメールを送信してください hiroya@iatss.or.jp

■締め切り：2021年2月23日(火)

講演者・パネリスト紹介



Ms. Jessica Ugucioni 講演者①

連合王国、法律委員会、自動運転関係法整備担当(主任)
コモンロー体系を採る各国の自動運転関係法に精通している。



Dr. Mirja Feldmann 講演者②

ドイツ連邦、地方裁判所裁判官、ドイツ連邦検察庁に出向中。大学講師を兼ねる。
日本留学経験あり(大学及び最高裁判所にて研修)。スペイン法にも精通。



Dr. Eric Andreas Hilgendorf 講演者③

ドイツ連邦、ビュルツブルク大学法学部教授。
ドイツ連邦、自動運転に係る倫理委員会メンバー。
バイエルン州AI検討会メンバー、同州デジタル情報研究会所長。
自動運転関係法、ロボット法の世界的権威。



Prof. Jean-Christophe Roda 講演者④

フランス共和国、リヨン第3大学法学部教授。
国際商取引法、契約法、競争法等を専攻。
カナダで自動運転に関する講演の経験もあり、多角的に自動運転関係法を研究。



今井 猛嘉

法政大学大学院法務研究科教授
法制審議会刑事法部会委員
内閣官房・内閣府本府入札等監視委員会 委員長代理
OECD ハイレベルアドバイザー
(公財)国際交通安全学会 会員
2005C プロジェクトリーダー

Ms. Caroline Lebreton (写真省略)

法政大学大学院博士課程

スケジュール

シンポジウム

「自動運転の時代と交通体系を国際的視点から考える」
(人間、AI、交通社会のあり方を巡る、英国、ドイツ、フランス、日本での取り組み)

●開会の挨拶

18:00 - 18:05 今井 猛嘉

講演対象 Level3,4の実用可能性、Dilemma 状況への対処

●講演

講演 25分内10分質疑応答

18:05 - 18:30

講演者① Ms. Jessica Ugucioni

自動運転(レベル4)中に遭遇するディレンマ状況への対応
ー イギリス(法律委員会)の観点

18:30 - 18:55

講演者② Dr. Mirja Feldmann

自動運転(レベル4)中に遭遇するディレンマ状況への対応
ー ドイツ(裁判官)の観点

18:55 - 19:20

講演者③ Dr. Eric Andreas Hilgendorf

自動運転(レベル4)中に遭遇するディレンマ状況への対応
ー ドイツ(研究者)の観点

19:20 - 19:45

講演者④ Prof. Jean-Christophe Roda

自動運転(レベル4)中に遭遇するディレンマ状況への対応
ー フランス(研究者)の観点

●休憩

19:45 - 19:55

●パネルディスカッション・質疑応答

19:55 - 20:55

【進行】 今井 猛嘉

【パネリスト】 講演者4名

Ms. Caroline Lebreton (兼通訳)

●閉会の挨拶

20:55 - 21:00

鎌田 聡

(公財)国際交通安全学会 専務理事